

会議録

会議名	第1回習志野市公共施設躯体活用型建替検討専門委員会及び習志野市大久保地区公共施設再生事業手法検討専門委員会合同会議
開催日時	平成27年8月31日(月) 13:00~15:00
場所	習志野市役所仮庁舎3階大会議室
出席者	<p>[委員]</p> <p>習志野市公共施設躯体活用型建替検討専門委員会 湯浅委員、田島委員、遠藤委員、古波津委員</p> <p>習志野市大久保地区公共施設再生事業手法検討専門委員会 佐々木委員、田島委員、麦島委員、小松委員</p> <p>※田島委員は、両委員会兼務</p> <p>[事務局(財政部資産管理室資産管理課)]</p> <p>宮本市長、吉川資産管理室長、江口課長 早川主幹、岡田主幹、青野副主査</p> <p>[事務局支援事業者]</p> <p>株式会社日本経済研究所</p>
議事等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委嘱状交付 2. 市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 開会 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 習志野市公共施設再生計画と大久保地区公共施設再生事業のこれまでの取組及び課題について (2) 大久保地区公共施設再生事業の今後のスケジュールについて (3) 専門委員会の運営及び今後の検討内容等について (4) その他 6. 委員長及び副委員長選出 7. 閉会

傍聴者：1名

【会議概要】

●会議の公開・非公開について

本会議は原則公開とすることを全会一致により決定

●委嘱状交付

市長から各委員に委嘱状を交付

●市長あいさつ

●委員、事務局紹介

事務局より各委員、職員、事務局支援事業者の紹介

●議事

資料に基づき、議事(1)～(3)について、一括して事務局より説明

委員意見要旨

<p>湯浅委員</p>	<p>○習志野市が活性化していく建物をつくっていかないといけない。 ○耐震性、アスベストの2つの問題をクリアして、建替（リノベーション）か新築かは、建物の状態や経済性から考えるべきだと思う。 ○中央公園は学生（大学生、高校生）には知られていない。公民館と公園、商店街、学生が連携できる方策を検討したい。 ○防災面でも中央公園は非常に重要である。防災拠点としても整備したい。 ○図書館については、京成大久保駅北側の日本大学生産工学部や東邦大学と連携することもできるのではないかと。商店街の活性化にもつながる。 ○図書館については、本の重さが躯体に大きな負担となる。</p>
<p>田島委員</p>	<p>○今回合同で開催した意義を考えると、ひとつのものを分けて検討していくことになるので、今後の進め方、つなげ方が大事になってくる。 ○2つの委員会は、専門的な議論を深めるためには個別開催がよいが、情報を共有して議論することも重要と考える。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>○民間事業者の破産、倒産などのリスクを考慮したスキームにすべき。 ○リノベーションになった場合、機能をどこまで入れるのか、費用負担はどれくらいかなどを検討する必要がある。</p>
<p>古波津委員</p>	<p>○平成26年度に実施したワークショップを拝見した経験から、住民の思いや、どのようなまちにしていきたいかということをお願いしたい、軸にしていきたいと思う。住民に寄り添った検討をしてほしい。 ○次回からは2つの委員会が別々に議論していくので、意見をシェアしていくことをお願いしたい。 ○リスクマネジメントの観点から、維持費の圧縮なども検討したい。</p>
<p>麦島委員</p>	<p>○大久保地区の公共施設再生によって「社会的付加価値の向上」を図るとなっているがどういう意味か。 →（市）利便性が高まる、人が集まる、活性化するという意味である。 ○ホールは現状規模で維持されるのか。 →（市）現状も稼働率は4～5割程度であるため、フラットで可動式の座席（舞台も稼働かは未定）で多目的に活用できるホールを想定している。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>○公園と施設とがあるが、市民サービスの提供という点では、縦割りを廃し、一体的な管理、運営主体を考え、その主体を安定的に持続できるスキームを考えることが必要と思う。ガバナンス、ファイナンスの仕組みをしっかりとさせることが大事。 ○法的制約もあるが、市民のためには柔軟に考えていくことも必要である。 ○全体として、よりよい市民サービスを提供し、収支を確保できるような方法を考えるべきである。可能性のバリエーションを広げて考えていければよい。</p>
<p>小松委員</p>	<p>○民間の収益事業については、大久保地区にふさわしいコンセプトを早めに固めて、方向性を決めるべきだと思う。どのような民間の収益事業を展開するかによって、事業全体のリスクが変わってくる。 ○本来は、目指す方向性があり、それが前提にあって、その上で管理やリノベーションをどうするのかという議論があると思う。目指す方向性は民間から意見を募るといふことか。 →（市）民間にどこまで提案を求めるかは悩みどころであり、議論のしどころである。</p>

●委員長及び副委員長選出

両委員会の委員長に田島委員を、習志野市公共施設躯体活用型建替検討専門委員会副委員長に湯浅委員を、習志野市大久保地区公共施設再生事業手法検討専門委員会副委員長に山本委員（当日欠席）をそれぞれ選出

●委員長あいさつ

●次回の委員会開催予定について

次回の委員会は平成27年10月中旬から下旬の開催とし、後日改めて事務局にて日程調整をすることとなった。

●閉会